※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「新地理総合」　（帝国書院）						
副教材等	新鮮高等地図　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

わたしたちは生きていくうえでの様々な問題に直面した時、過去を振り返ったり、他と比較したりして問題を解決しようとします。地理総合では世界の様々な地域の自然や産業・文化や問題などを私たちの暮らしと比較しながら地理的に考えていく力を身に着けることを目指します。

私たちの生活とのつながりを常に意識しながら地理的な視野を持って学習を進めていきましょう。

２　学習の到達目標

持続可能な社会作りを目指し、環境条件と人間の営みとのかかわりに注目して現代の地理的な諸問題を考察する。

グローバルな視座から国際理解や国際協力の在り方を地理的な視座から防災などの諸問題への対応を考察する。

地図や地理情報システムなどを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	国際社会の地理的課題について理解するための知識	国際社会の地理的課題について、地理的な見方・考え方にもとずいて考え、それを文章や発表の形で表現する。	自分が国際社会の一員であることを自覚し、国際社会の地理的課題を意欲的に追及する姿勢

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図	地図上の位置と時差 地図の役割と種類	a:地理総合の課題に関心を持って、授業に積極的に参加しよう b:様々な地図の活用方法や長所短所などの特性を理解しよう c:資料を適切に収集し、その資料から有用な情報を適切に選択して地図に表現しよう	○		○
	現代社会	現代社会の国家と領域 グローバル化する世界	a:世界の略図をかけるようにしよう		○	○
2学期	国際理解	生活文化の多様性 世界の地形と人々の生活	a:世界の大地形・小地形などについて系統地理的にとらえる視点や考察方法、人間生活とのかかわりなどを理解し、その知識を身につけよう	○	○	
	国際協力	世界の気候と人々の生活 世界の産業と人々の生活	a:世界の気候と人間生活への影響に関するデータや写真などの資料を読み取り、図や表にまとめてみよう b:気温や風・降水量などの気候要素と緯度・水陸分布などの気候因子から気候の分布や人間生活への影響を考察してみよう		○	○
3学期	地理的課題	地理環境問題 資源エネルギー問題	a:資源やエネルギー生産と消費に関する統計などの資料を適切に収集し、有用な情報を選択して図表にまとめてみよう b:生活消費の不均衡と資源エネルギー問題に関する考察をもとにエネルギー問題に関する関心を高めてみよう	○		○
	防災	地震津波と防災 火山災害と防災 気象災害と防災	a:日本各地で様々な自然災害が起きていることを理解するために風水害、火山、地震などの事例について地形図・ハザードマップなどを利用する技能とともに防災・減災意識の向上につなげる		○	○

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度